

教科「情報」とは

Copyright(C)Yoshihiro Sato All rights reserved

教科「情報」への誤解

- パソコンの使い方を教える
- WordやExcelが得意になる
- 情報科学・情報工学を勉強する

Copyright(C)Yoshihiro Sato All rights reserved

教科「情報」とは

- 2003年度入学生から必修
– 今年の大学4年生が「情報一期生」
- 2単位
– 3年間のうち一つの学年
– 週に2時間学習する
- 情報教育-3つの観点をバランスよく学習

Copyright(C)Yoshihiro Sato All rights reserved

情報教育の目標

- 3つの観点
– 「情報活用の実践力」
– 「情報の科学的な理解」
– 「情報社会に参画する態度」
- バランスよく育てる
- 相互に関連して指導

Copyright(C)Yoshihiro Sato All rights reserved

情報活用の実践力

- 課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、
- 必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、
- 受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力

使える

Copyright(C)Yoshihiro Sato All rights reserved

情報の科学的な理解

- 情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、
- 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

わかる

Copyright(C)Yoshihiro Sato All rights reserved

情報社会に参画する態度

- 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、
- 情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、
- 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

活かす

普通教科「情報」の目標

- 情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得を通して、
- 情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、
- 社会の中で情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解させ、
- 情報化の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

3つの科目

- 情報A
 - － コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報機器を活用する実習を多く取り入れ、「情報活用の実践力」を高める。
 - － コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用経験が浅い生徒でも十分履修できることを想定している。

3つの科目

- 情報B
 - － コンピュータの仕組みやコンピュータを活用した問題解決の学習を通して、「情報の科学的な理解」を深めていく。
 - － コンピュータに興味・関心を持つ生徒が履修することを想定している。

3つの科目

- 情報C
 - － 情報の表現方法やコミュニケーションについての学習、実際の調査活動、情報社会の理解を通して、「情報社会に参画する態度」の育成を重視する。
 - － 情報社会やコミュニケーションに興味・関心を持つ生徒が履修することを想定している。